

STEP 12月号



自分の歩幅で一歩ずつ着実に!

令和4年11月30日(水) NO. 9

防災について学びました!

11月15日、神戸で震災学習を行いました。直前に学年閉鎖となり、実施が危ぶまれましたが、前日に体調確認を行い、感染防止の注意を重ねながら3年ぶりの神戸研修が実現しました。午前中は、人と防災未来センターで、阪神淡路大震災の映像や防災に関する展示を見て回りました。多くの生徒が感想で触れていたように、地震をこれから起こるかもしれない自分の事としてとらえることができたようです。映像の中に出てきた「一番早く逃げる人が、一番勇気のある人」という言葉は、つらい被災を乗り越えてきた人々の実感からくるものだと感じました。午後は、神戸の街を班で歩いてめぐり、復興した街の姿を体感しました。天気にも恵まれ、体調不良者も出ず、一日を無事に終えることができて良かったです。生徒の皆さんには、今回学んだことを忘れず、緊急事態が起きたときに、自分や周りの人を守り、支えることができる人になってほしいです。



生徒感想 ~神戸震災学習を通して~

- ◎人と防災未来センターでたくさんの動画を見て、いつどこで何が起こるかわからないので、日々、周りを見て行動することが大切だとわかった。南海トラフで一番高く来る津波が34.4mでどれくらいの高さか知ることができたので、避難するときはそれ以上の高さでないといけないと思った。
- ◎慰霊と復興のモニュメントの地下を通ったとき、人の名前が書かれていたのを見て、こんなに地震で亡くなった人が多いのかと心が痛んだ。
- ◎班行動では、初めて自分たちだけで回り、不安やハプニングがあったけど、班のみんなと協力して行けたことが思い出に残りました。

オンライン講話・HUG(避難所運営ゲーム)

神戸震災学習前後で、さまざまな防災学習に取り組みました。11日に神戸市のNPO団体「ふたば学舎」の若山さんにオンラインで講話をしていただきました。小学生のときに神戸で被災された若山さんのお話は多方面に渡りましたが、中学生でもできること、それは緊急事態になったときどう行動するかを平時のときにしっかり考えておくこと、そして備えをしておくことです。備蓄した食料を賞味期限前に食べ切ってまた買い足すローリングストック法など、覚えて実践したいと思いました。

神戸研修から数日経って各クラスで取り組んだのはHUG(避難所運営ゲーム)です。カードや模造紙を使って、緊急時に玉北が避難所になったらどのように被災者を誘導し、避難所を運営するか、班で知恵を出し合って考えました。避難所には様々な事情を抱える人が次から次へと押し寄せます。相手の立場に立って、みんなが少しでも安心して避難所生活を送るにはどうしたらよいか...、みんなで取り組んだことで、改めてその難しさを実感することができました。



12月の行事予定

日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	木	学校保健委員会 専門委員会	16	金	個人懇談
2	金		17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	
5	月	防犯教室	20	火	
6	火		21	水	
7	水		22	木	給食最終
8	木		23	金	終業式 大掃除
9	金		24	土	
10	土	玉北ボランティア活動	25	日	
11	日		26	月	
12	月		27	火	
13	火		28	水	閉庁日
14	水	あいさつ運動	29	木	閉庁日
15	木	個人懇談	30	金	閉庁日
			31	土	閉庁日



1月の主な予定

10日(火) 始業式 課題テスト 11日(水) 給食開始 課題テスト 専門委員会
13日(金) PTA 見まもり事業 31日(火) 専門委員会

保護者の皆様へ

学級閉鎖や学年閉鎖が相次ぎ、ご心配をおかけしました。今は少し落ち着いていますが、引き続き、感染予防に注意していきます。12月の個人懇談では、お子様の生活でお聞きになりたいことなど気兼ねなく、担任にご相談ください。よろしくお願いいたします。